

# 北海道教区報

第 607 号

発行所

天理教北海道教務支庁  
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目  
電話 011 (561) 1148  
FAX 011 (561) 1190  
E-mail: tenrikyohk@gmail.com  
ホームページ  
<https://tenrikyohk.com>

## 冬季訓練

## 災救隊

今シーズンの降雪量は、全道的に平年並みかやや多いと予報とされていたが、12 月には、岩見沢周辺の空知地方で大雪となった。また 2 月に入り道東で記録的大雪となり、帯広の 12 時間降雪量は統計史上 1 位で、53 年ぶりに積雪 120 cm をこえた。

豪雪地区の各支部隊を中心に今季も冬季訓練を実施。各市町村の社会福祉協議会と連携して、主に独居老人宅を中心に除排雪作業を行った。



上富良野町



美唄市



三笠市



深川市



教祖 140 年祭

すべて喜び  
すべておたすけ

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

### 北海道教区



社協との安全確認の打ち合わせ



### 支部隊長会議

災害救援ひのきしん隊（三幣敦志隊長）は、1 月 25 日、おちばの教区事務所とリモート併用で支部隊長、スタッフを対象に全道支部隊長会議を開催し、25 名が参加した。

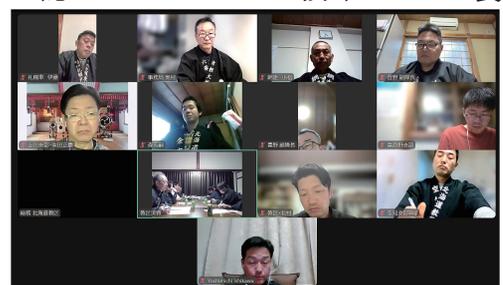
宣誓唱和に続き、昨年 5 月能登半島地震と 8 月山形豪雨の年に 2 度の災害出動について報告があった。次年度活動予定として、6/28 平時訓練（道北ブロック）



教区事務所

また 3 月末で任期を終える支部隊長や支部での役職変更もあることから、スムーズな引継ぎと発災後の動きなど連絡の徹底が大切である事を再確認し散会した。

が発表された。続いて教区長の挨拶後、ブロック長の役割について確認を行った。



定例にをいかけ やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、1月16日、定例の布教活動を行った。

厳寒の最中にも関わらず11名の教友がより集い、年祭活動締め括りの年を踏み出すにふさわしいお互いの熱気に、一同は心を勇ませた。

教務支庁で参拝後、幌西地区へ移動し、各グループに分かれてをいかけ活動を展開。

「教祖の相伴を」との心で戸別訪問に歩き、おさづけの取次ぎも御守護いただいた。

在宅されている方々にお道のお話はできなくても、わずかも良きにをいをかけようと、優しい心で声を掛け、人々に親のぬくもりを伝えた。



戸別訪問



2月 布教講話

また2月16日のやまびこ会は、教務支庁で本樺分教会長・大上道徳講師（札幌北西支部・本島大）のお話を拝聴。12名が道内各地から寄り集った。

講師は定例活動にも積極的に参加して下さっていて、自らが歩んできた道を赤裸々に参加者に伝えた。

大上氏は、教会子弟として生まれるも、若かりし頃は信仰の喜びとは程遠い時期が続いた。しかし、様々な事情を通る中に、自ら求めて修養科に入科。おちばで学び、信仰実践を積み重ねる中で、教えの素晴らしさに気が付き、大教会青年を経て、布教の家埼玉寮に入寮した。

その後、入寮研修会での中山善衛三代真柱様のお言葉を支えとし、一年間布教に専従。まずは自らを捨て、一回でも多く神様の理のあるおさづけの取次ぎ

を、との埼玉寮の指導の下、葛藤を抱えながらも幾多の失敗と成功を重ね、一日に77回ものおさづけを取り次げるほどに成人をした経験を、布教を志す教友に熱心に語りかけた。

今回の講演で、勇み心をいってきたかたかと、はるばるこのために北見方面からバスに乗って来た参加者もおられた。

まさに年祭活動仕上げの年の一年にふさわしく、やまびこ会のみならず、教区内の布教活動に一層の拍車をかけるであろう絶好の機会となった。

(代表 藤野充普)

海外の方へにをいかけ



英語で路傍講演を

● 札幌東支部布教部（御厩瑞穂布教部長）は、教区布教部と合同で2月11日に雪まつり最終日で賑わう大通公園周辺で、海外からの観光客に向けて布教



神名流し ニセコ地区にて

● 北銀山分教会（野村広司会長）は、2月11日、倶知安町のニセコ地区にて布教活動をしていく。

支部では、今後も外国語での布教活動を定期的に行う計画をしている。

活動を実施し、5名が参加した。出発直前には、英語でのパンフレットの渡し方や英語での路傍講演の練習を行い、市役所前や駅前通りで英語の路傍講演を順番にした。パンフレットは、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、インドネシア、インド、タイ、ベトナム、ドイツと各国からの観光客に対応できるように持参した。手渡しで受け取る時も断られる時も一様に明るく応対して下さる方が多かった。

行った。ニセコ地区は、海外からの渡航者やスキー客の冬季滞在者が多い事でも有名である。教会から8名が参加して、英語版のパンフレットの手渡しと交差点に並んで神名流しを実施した。

「パンフレットを快く受け取ってくださる方が多かったです。また、拍子木とチャンポンを入れての神名流しは、物珍しそうに見てくれていました。あまり寒くなくて良かったです。」と野村会長が話された。

毎月実施中 にをいかけ Walker 北海道

年祭活動の後押しをさせて頂きたいの思いからオンラインで、それぞれの場所で路傍講演、神名流し、戸別訪問、おつとめなどの実動をいたします。

詳細などは教区布教部まで。



2月 実動後のねりあいの様子

「十勝晴れ」

— 十勝支部長 郷司諭 —



十勝支部は行政区域の十勝振興局と同じ範囲で面積は北海道の約13パーセント、岐阜県とほぼ同じ広さです。日本有数の穀倉地帯で食料自給率はカロリーベースで約1千300%、日本全体では38%ですのどいかに多いかがわかります。ちなみに約400万人分の食を支えている計算だそうです。この十勝の魅力は十勝平野の広大な景色と、何といっても「十勝晴れ」と言われる気候にあると私は思っています。

大雪の日は当教会で支部例会の日でしたが、早朝からラインで「玄関が開かない」「救助要請したい位」「身動きできません」等連絡があり、コロナ禍の

年間を通して晴天の日が多く、カラッとしていて、冬はかなり冷え込みますが、雪は少なく、母がよく「老会長さん（私の祖父）は本当にいい所で布教してくれた」と喜んでいました。

ところがこの【雪が少ない】を覆す大雪が帯広で一晩に120cmという観測史上最高記録となった事はまだ記憶に新しい所であります。



帯の先生方にはお叱りを受けるかもしれませんが、むしろ好きなのは何故かという点、夏の草引きもそうですが「結果が見える」からです。自分がした事がふり返つたら現実に結果として見えるから有ります。

しかし、それはひと時の喜びであつて長く続くものではありません。逆にお道の御用は自分が思い願う結果がすぐに見えてこない事が多いと思います。私はあまり努力をしていないので当たり前かもしれませんが、「まいたるたねはみなはえる」「一粒万倍」ともお教え頂きます。

何時になるか分かりませんが必ず結果を見せて頂ける。それも万倍にして 否、既に見せて戴いているのに気が付いていないだけかも知れません。結果を急ぐのではなく「すえはたのもしみちがあるぞや」を楽しみに、一年を切った年祭活動を何からでもコツコツと「十勝晴れ」のような晴天の心でつめていきたいと思っております。

中でも一度も休まなかつた例会ですが、当然、中止となりまして。

胸位迄ある雪を掻くのはかなりの重労働でしたが、私は雪かきが嫌ではありません。豪雪地

各地の動き ● 函館支部雅楽部「雅朋会」(水島弘司会長)は、公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団の依頼により令和6年11月30日「楽器のヒミツ大発見!」(雅楽編)と題したワークショップを函館市民会館3階小ホールを会場に開催。



普段、生で聴くことがなく、触れることがなく、触れない楽器を体験でき、とても良い機会だったの感想。また、楽器体験後の演奏が楽器の難しさを

お詫び



知って、より興味深く聴くことが出来たなど、大いに楽しんで頂いた。(支部社友 大山和徳)



ご迷惑をお掛け致しました事をお詫び申し上げます。 PDFダウンロード



佐々木氏(左) 事務局長(右)

教区報606号(1月号)の8ページ福祉厚生部・福祉募金の写真が別写真を掲載してしましたので、訂正致します。正しい写真は、左掲載の写真です。また、ホームページの教区報とダウンロード版は、訂正済みに更新しています。

真冬の集い 学生会

教区学生会（齋藤美桜委員長）は、2月8日・9日に教務支庁で真冬の集いを行い、1年ぶりや3年ぶりの学生、初めての行事参加者など学生9名が参加。学生同士の交流を深め、3月の春の学生おちばがえりへの参加につながればと「寒い時こそみんなで集まると心も体も温まるっ！」のテーマのもと開催した。

8日は、開会式に続き、アイスブレイクでリラククス。グループタイムやクイズラリー、ゲームを行い、夕食では、鍋を囲んでさらに親睦を深めた。



9日、ひのきしん後の閉会式では、齋藤委員長が、春の学生おちばがえりについての思いを話した。

またスタッフは、「春学期に相応しい、楽しくあたたかい人達に囲まれた素敵な行事になった」「いよいよ今月末に迫ってきた春の学生おちばがえり、たくさんの方の会員さんに再会できること、出会える事を私たちがスタッフは楽しみにしています」とコメントした。

新教会長さん紹介

(令和6年11月お運び)

南空知支部 誠力分教会（網島） 奉告祭 12月1日



山口 伸吾 氏 49 歳

●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

1月29日は、玄関、各会口ビ、廊下、階段、トイレ掃除と大小会議室、神殿掃除、畳拭きを行い、15名が参加下さいました。ありがとうございます。



神殿掃除



トイレ掃除

※今後の予定や詳細はこちらのQRコードから



北海道教務支庁日誌抄

1月4日	御用始め	1月25日	災害隊 支部隊長会議 (教区事務所)
5日	たすけ推進会議	26日	本部春季大祭 遥拝式
7日	一手一つお願いづとめ	28日	教務支庁ふせこみひのきしん
9日	支部長会議	29日	運営委員会
13日	基礎講座会議	31日	たすけ推進会議
16日	札幌中南支部例会	2月1日	学生会例会
19日	青年会 Meets!	2月2日	青年会 Meets!
25日	やまびこ会	2月4日	支部長会議
26日	会計部会議	2月5日	札幌中南支部例会
28日	教区長会議	2月8日	女子青年例会
29日	支部隊長会議	2月15日	学生会例会
31日	災害隊 支部隊長会議	2月16日	やまびこ会
		2月20日	編集会議
		2月23日	会計会議
		2月25日	婦人会例会
		2月26日	教区長婦本
		2月28日	教区長会議
		2月29日	女子青年例会
		3月1日	本部月次祭 遥拝式
		3月2日	学生会例会
		3月4日	やまびこ会
		3月5日	編集会議
		3月8日	会計会議
		3月15日	婦人会例会
		3月16日	教区長婦本
		3月19日	教区長会議
		3月25日	女子青年例会
		3月26日	本部月次祭 遥拝式
		3月28日	学生会例会
		3月29日	やまびこ会
		3月31日	編集会議

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭 遥拝式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお願致します。

訃報

立教一八七年・令和6年

鈴木 榮二様 12月27日出直 (93歳) 都下歳分教会元会長 (千恵広支部)

柴田 博行様 12月29日出直 (72歳) 錦之旗分教会長 (空知支部)

立教一八八年・令和7年

中村 守様 1月3日出直 (89歳) 元教区主事 北統分教会元会長 (小樽支部)

嶺 昌子様 1月6日出直 (82歳) 北嶺分教会長 (札幌北西支部)

京屋 保子様 1月11日出直 (86歳) 三笠中央分教会元会長夫人 (南空知支部)

八木 正様 1月18日出直 (77歳) 北白石分教会長 (札幌白豊支部)

けいじばん